

沼津工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	技術英語 I
科目基礎情報						
科目番号	2023-444		科目区分	専門 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	学修単位: 1		
開設学科	制御情報工学科		対象学年	4		
開設期	後期		週時間数	後期:2		
教科書/教材	自作の講義ノートを配布					
担当教員	宮下 真信					
到達目標						
1. 論文全体の構成、パラグラフ、センテンスにおいて、正確に、明確に、簡潔に記述するための基本事項を習得する。 2. 論理的な文章を書くために必要な英文法や数式、数の表現などの基本事項を習得する。 3. 英文abstractが書けること、英文でのプレゼンテーション方法を習得する(D2-2)。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
論文の構成に求められる、パラグラフ、センテンスが正確、明確、簡潔に記述できる。	英文で論文内容や主張点を記述するときに、適切な単語を選択でき、冠詞、助動詞、前置詞のもつ英語のニュアンスを理解できる。さらに、文法的誤りが無い文章を作成できる（試験の点が32点以上に相当）。		英文で論文内容や主張点を記述するときに、適切な単語を選択でき、冠詞、助動詞、前置詞のもつ英語のニュアンスを理解できる（試験の点が24～32点未満に相当）。		英文で論文内容や主張点を記述するときに、適切な単語を選択でき、冠詞、助動詞、前置詞のもつ英語のニュアンスを理解できない。（試験の点が24点未満に相当）。	
英文abstractにおける論理構成の習得	英文abstractでの論理構成に基づいて典型的な英文での表現が、明確、簡潔にできる（試験の点が32点以上に相当）。		英文abstractでの論理構成に基づいて典型的な英文での表現ができる（試験の点が24～32点に相当）。		英文abstractでの論理構成に基づいて典型的な英文での表現ができない（試験の点が24点未満に相当）。	
数式や図形の表現ができる。	数式表現や図形を英語で表現でき、さらに状況に応じた的確な表現ができる（試験の点で16点以上に相当）。		数式表現や図形を英語で表現できる（試験の点で12～15点未満に相当）。		数式表現や図形を英語で表現ができない（試験の点で12点未満に相当）。	
学科の到達目標項目との関係						
実践指針 (D2) 実践指針のレベル (D2-3) 【本校学習・教育目標（本科のみ）】 4 【プログラム学習・教育目標】 D						
教育方法等						
概要	科学技術の世界では、英文による論文、仕様書、マニュアルを書くことや読むことは必須である。学術論文では、正確に(Correct)、明確に(Clear)、簡潔に(Concise)表現することが必要となる。ここでは、学術論文の構成や典型的な論理展開について講義すると共に、これらの3つの要素を満たすための英文での表現方法について講義する。					
授業の進め方・方法	本授業は、論文構成の基本事項についての講義と、具体的な英文の書き方について講義する。論文構成の基本では、数式表現、位置・時間・方向・距離などの基本的な表現について座学で講義する。また、具体的な英文の書き方では、名詞と冠詞、時制、助動詞、to不定詞と動名詞、短文を関係詞や接続詞で結方法などについて、英語でのニュアンスを中心とした講義を行う。					
注意点	中間試験と期末試験の平均点で評価する。再試験は実施しない。					
授業の属性・履修上の区分						
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☒ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	ガイダンス	技術英文とは？学術論文の構成。Correct(正確), Clear(明確), Concise(簡潔)に書くとは？どのようなことを理解できる。		
		2週	技術英語の基礎 1	アブストラクトを中心に、論文全体の構成方法、センテンスとパラグラフの構成について理解できる。		
		3週	技術英語の基礎 2	文書のきまりの理解、ピリオド、コンマ、コロンの使い方を理解できる。		
		4週	文法 1	名詞の取り扱いと冠詞について理解できる。		
		5週	文法 2	主語と動詞、5文型（技術英語で好まれる文型）について理解できる。		
		6週	文法 3	時制（過去形、現在形、現在完了形の使い方）について理解できる。		
		7週	文法 4	受動態と能動態（受動態で表現する場合）を適宜に使う方法について理解できる。		
		8週	文法 5	著者の気持ちを伝える助動詞のニュアンス、前置詞のニュアンスを理解できる。		
	4thQ	9週	文法 6	未来のことを述べるto不定詞と現状を述べる動名詞のニュアンスの違いを理解できる。		
		10週	文法 7	現在分詞と過去分詞（格調高い表現としての分詞構文）のニュアンスを理解できる。		
		11週	文法 8	比較の表現、数式や数の表現について理解できる。		
		12週	文法 9	関係代名詞と関係副詞のニュアンスを理解できる。		
		13週	文法 1 0	英文の書き方、短文を関係詞、接続詞でつなぐ方法について理解できる。		
		14週	ショートプレゼンテーション	あらかじめ課したレポート内容について、パワーポイントを使ったプレゼンテーションを行い、プレゼンテーション方法について理解できる。		

		15週	まとめ	科学技術英語の読み方を理解する。アブストラクトでの論理展開について理解できる。			
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。	3	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後15	
				他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる。	3	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15	
				他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。	3		
				日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。	3		
				円滑なコミュニケーションのために図表を用意できる。	3	後14	
				円滑なコミュニケーションのための態度をとることができる(相づち、繰り返し、ボディランゲージなど)。	3		
				他者の意見を聞き合意形成することができる。	3	後14	
				合意形成のために会話を成立させることができる。	3	後14	
				グループワーク、ワークショップ等の特定の合意形成の方法を実践できる。	3	後14	
				目的や対象者に応じて適切なツールや手法を用いて正しく情報発信(プレゼンテーション)できる。	3	後14,後15	
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	100	0	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0